

一般的に、習い事は親が積極的で子供はあまりやらないというケースが多いが、異例とも言える。

**乳幼児から「脳トレ」教育**

ドリル本やゲーム機から火が付き「脳トレ」。現在では、お受験や英才教育の一環として、脳科学を取り入れた乳幼児教室が盛んだ。

城南進学研究社（川崎市）は、09年2月に乳幼児の脳を育てる「くはたのうけん」を東京・自由が丘教室で開講した。0〜3歳までの乳幼児を対象に、親子一緒に、賢い脳を育てる。指導を行っている。授業料は月額2万1000円に教材費が315円。別途、入会金2万1000円と保険代が年560円必要。

2カ月後のテレビ番組で、独自の教育方法で自分の子供を東京大学に進学させるなど成果を上げたカヨ子夫人が紹介された直後に応募が殺到した。現在は約300組の親子が受講し、すでに満杯状態だが、いまだ約500組が空きを待っているという。

同教室では、脳の最高司令塔といわれる「前頭連合野」と記憶力を司る「海馬」を効果的に刺激することで、幼児期に育むべき5つの領域（健康、人間関係、環境、言葉、表現）を効率よく発達させるカリキュラムを用意している。

たとえば、0〜3カ月ごろまでの乳幼児に対する具体的なカリキュラムの例として、「お母さんの小指を正しい握り方で握らせる」「イナイイナ

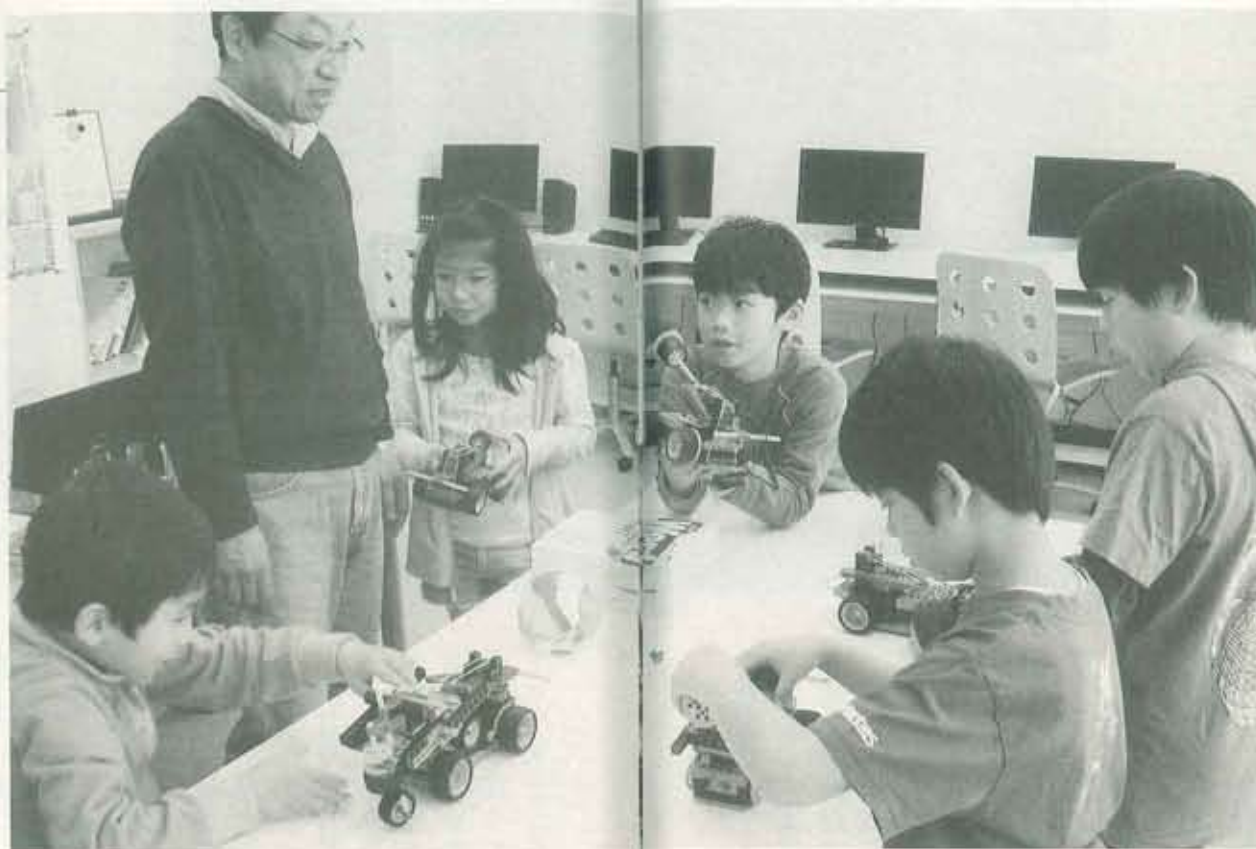
子供向けのダンスファッションの登場や専門誌が発刊されるなど、親子ともにダンスへの関心が高まり、キッズ・ジュニア世代を対象にしたダンス教室が活況を帯びている。阪急百貨店と阪神百貨店を傘下に持つエイチ・ツー・オーリテイニング（大阪市）は、09年10月にオープンした百貨店「あまがさき阪神」（尼崎市）に、本格的ダンススタジオとダンスファッションが融合した「キッズダンスワールド」を開講した。

幼稚園から中学生までを対象にし

たキッズ専門のダンス教室は、数々のヒット曲がある5人組のダンス・ミュージックグループ「TRF」のメンバー、SAM氏が運営する「ソウルアンドモーション」が主催。講師陣も実績のあるダンサーたちが顔を揃えている。プログラムは今はやりのヒップホップやジャズ、ロックなど多彩なジャンルを用意し、それぞれのレベルに合わせた入門・初級・中級の3クラス編成。授業料は1回30分、月8回のクラスで月額8400円。別途、入会金5250円が必要。体験コースでお試しレッスンを受けることもできる。

百貨店内という安心感と駅に直結した好立地が相まって、開業後半年ほどで約300人が入会。小学1〜4年生が多く、「子供のレッスン中に買い物ができる」という会員の親の声も多く聞かれる。次世代を担うダンサーの輩出とともに、これからの百貨店の顧客づくりと売り場の演出づくり（広報担当）という同社の狙いが当たっているようだ。かつて、子供向けのダンス教室は少なく、子供のころには習いたくても習えなかった現在の親が、自分の子供に習わせるケースが特に目立つという。

少子化が進み、従来の習い事の生徒数は減っていくと予想されるなか、この業界でも新しいコンテンツづくりが求められているようだ。



ロボットを組み立てたら皆で実験を行う。失敗したらまたチャレンジだ（千葉市美浜区で、筆者撮影）

か つて、子供の習い事といえば、ピアノ、書道、スイミング……などが一般的だったが、最近は事情がずいぶん変わり、さまざまなジャンルの教室が増えている。

子供を対象にしたスクール事業を展開するヒューマンエヌディー（東京都新宿区）は、2009年6月に「ヒューマンキッズサイエンス ロボット教室」を開講した。子供の理科離れが指摘されるなか、ロボットを通じて理科や科学に興味を持ってもらい、子供の将来の可能性を広げることを目的に掲げている。

小学生を対象に、難易度によって「ベーシックコース」「ミドルコース」があり、期間は各コース1年単位。授業は「基本製作」と「応用・実践」に分かれ月2回（年間24回）開かれ、計12体のロボットを製作する。授業料は月額9450円で、テキスト代315円。別途、入会金1万5000円、教具代2万7300円が必要。

基本製作では、主にパーツ（プラスチックのブロック）とモーター（動力は乾電池）を使用して、車型、ボート型、人型、虫型などさまざまな種類のロボットを組み立てる。マニュアルを見たり講師のアドバイスを受けるが、子供たち自らの力で完成させることを目標に置く。

応用・実践では、車輪や2足歩行で動かす、センサーで自動停止させる、物を持ち上げるなど、組み立てたロボットの動きを活用することを考える。また、パーツを組み替えてデザインや機能性をオリジナル仕様にしたり、実験や競技を行うことで、物が動く仕組みを覚えたり、創造力や感性を磨く。

監修は、ロボットクリエイターの高橋智隆氏。代表作であるヒト型の2足歩行小型ロボット

「クロイノ」が04年に米国タイム誌で「最もクールな発明」に選出されたことで一躍有名になった。開講して1年足らずで、教室数は首都圏、近畿圏を中心にフランチャイズ展開で281を数え、生徒数は1000人を超えている（3月末現在）。

取材に訪れた千葉市美浜区のロボット教室では、男子4人、女子1人の子供たちが試行錯誤しながらも、自分のアイデアでロボットを組み立てていた。その表情は真剣そのものだ。母親に子供を通わせたい理由を聞くと、「もともとレゴ（デンマーク製のブロック玩具）が好きで遊んでいたから」という答えが多かった。ある母親は「いろいろな発想力や柔軟な考え方を身に付けてほしい」と期待を込める。ロボット教室には、試験や発表会など目に見える形で成果を図るものはない。しかし、ヒューマンエヌディーの山本昌人社長は「子供に集中力がついた、という声を聞く。自分で考え、自分で成し遂げる力を身に付けることに力を入れている」と話す。

ロボットは、子供、特に男の子にとっては大人気で、アニメなどテレビ番組を通じて親しみやすく、わかりやすい存在だ。実際に、フランチャイズに加盟している塾がチラシを配布した際、子供からチラシを欲しがるといった反応があったという。

## ロボット、ダンス…… 多様化する子供のおけいこ

学習塾以外にも子供たちが習い事に通うのは今や当たり前。  
最近はやっと変わり種が人気を集めている。

かざま たつのぶ  
風間 立信（ライター）

「クロイノ」が04年に米国タイム誌で「最もクールな発明」に選出されたことで一躍有名になった。開講して1年足らずで、教室数は首都圏、近畿圏を中心にフランチャイズ展開で281を数え、生徒数は1000人を超えている（3月末現在）。

取材に訪れた千葉市美浜区のロボット教室では、男子4人、女子1人の子供たちが試行錯誤しながらも、自分のアイデアでロボットを組み立てていた。その表情は真剣そのものだ。母親に子供を通わせたい理由を聞くと、「もともとレゴ（デンマーク製のブロック玩具）が好きで遊んでいたから」という答えが多かった。ある母親は「いろいろな発想力や柔軟な考え方を身に付けてほしい」と期待を込める。ロボット教室には、試験や発表会など目に見える形で成果を図るものはない。しかし、ヒューマンエヌディーの山本昌人社長は「子供に集中力がついた、という声を聞く。自分で考え、自分で成し遂げる力を身に付けることに力を入れている」と話す。

ロボットは、子供、特に男の子にとっては大人気で、アニメなどテレビ番組を通じて親しみやすく、わかりやすい存在だ。実際に、フランチャイズに加盟している塾がチラシを配布した際、子供からチラシを欲しがるといった反応があったという。